



Bright field

Akeno Coffee & Outdoor life company

**A new world
view created by
a coffee and
forest guide.**



少年時代に遊んだ、あの裏山の姿をもう一度...





VISION

野山で遊ぶ時間が大好きでした。平成と言う時代に生まれましたが、まだ故郷の田舎には「里山」と呼べる自然環境が残り、人と自然が一つの共生関係を保った姿が見られました。しかし、開発の波はそんな里地にも押し寄せました。たった20年前。令和へと年号を変えた現在、私が遊んだ里山の姿はなく、そこには巨大で無機質なソーラーパネルがあるのみです。

エコエネルギーとは何なのか？持続可能な社会とは何なのか？環境問題はもとより、自然に対して目を向けなければいけない時代に突入する昨今。今一度、自然との歩み方を見直さなければならぬと思いませんか？

「たった20年前の姿。あの里山でまた遊びたい...」身近な自然に目を向けるきっかけ作り。そして、素晴らしい日本の自然を多くの方に伝える事。それがBright field 誕生のきっかけです。

VALUE

山や森。そして里山。原生林と呼ばれるような豊かな自然生態系と素晴らしい自然環境があります。そして、日本には「人」の営みと共に残された、自然や生き物の姿があります。それが里山なのです。

自然の恵みを得る事で、自然と共に営む。数十年前までの姿。昔ながらの生活文化や伝統文化を伝える事が、人が自然に目を向ける一番の近道ではないかと考えています。

その為に、自然・伝統文化を伝え、発信できるガイドの存在が必要不可欠なのです。ガイドが活躍できるField(居場所)や、多くの方とのコミュニケーションの場所づくりを立案すると共に、ガイド自身も大好きな分野での活動に新たなBright(光)を燈す。それが私たちの活動です。

MISSION

昨今、自然教育の重要性が多くの場で示唆されるようになって来ています。幼少期にサンダルで野山を駆け回り、いつも膝が傷まみれた子どもの姿を見なくなっただけはいつからでしょうか？

たった数年前、数十年前まで、人は自然の刹那的な美しさに触れ、自然は極身近な存在だったのです。

遊びのフィールドやゲームは、いつも自然の中にありました。

自然の素晴らしさや楽しさは、実際に触れる事で誰もが平等に感じる事ができます。今はただ、体験する機会が減ってしまっただけでありません。自然に親しみ、その中に身を置く時間を持てなかった大人にこそ、体験してほしい事が沢山あります。

そこから自然を「守りたい存在」と感じてくれる人を増やしたい。その為のField作りが私たちのMissionなのです。

森の案内人

Guide in the forest

大人になってから、自然に親しむ時間はありますか？自然や生き物でなくてもかまいません。幼少時代に夢中になった事。今、あの熱量で取り組んでいることはありますか？

あんなに夢中で追いかけた生き物、自然から離れた時代が私にもあります。年を重ね気づけば大学時代。あんなに好きだった、生き物との時間は研究となり、研究は仕事となり、それはお金を得る事。生活する糧となりました。そしてその時間は、より効率的にお金を得る時間へと転換されました。気づけば全く違う気持ちで、自然と向き合っている自分がいました。

今一度、自分を見つめなおそう。自分が伝えたかった思いを形に変えよう。そんな人生の転換期に「森の案内人」が生まれました。そして、自分を見つめなおす時間をくれたのは、森の中で飲んだ一杯の珈琲時間でした。

「人と森を繋ぐきっかけを一杯の珈琲から」

これが私の一つの答えとなり、森の案内人としての始まりでした。

あなたが今立っている、その場所から見える山の名前が分からなくてもいいのです。ふと立ち止まった時、近くの木に止まった小鳥の名前を知らなくてもいいのです。物体に名前を付けているのは「人」だけなのですから。森に入り、目で耳で、肌で感じた自然。

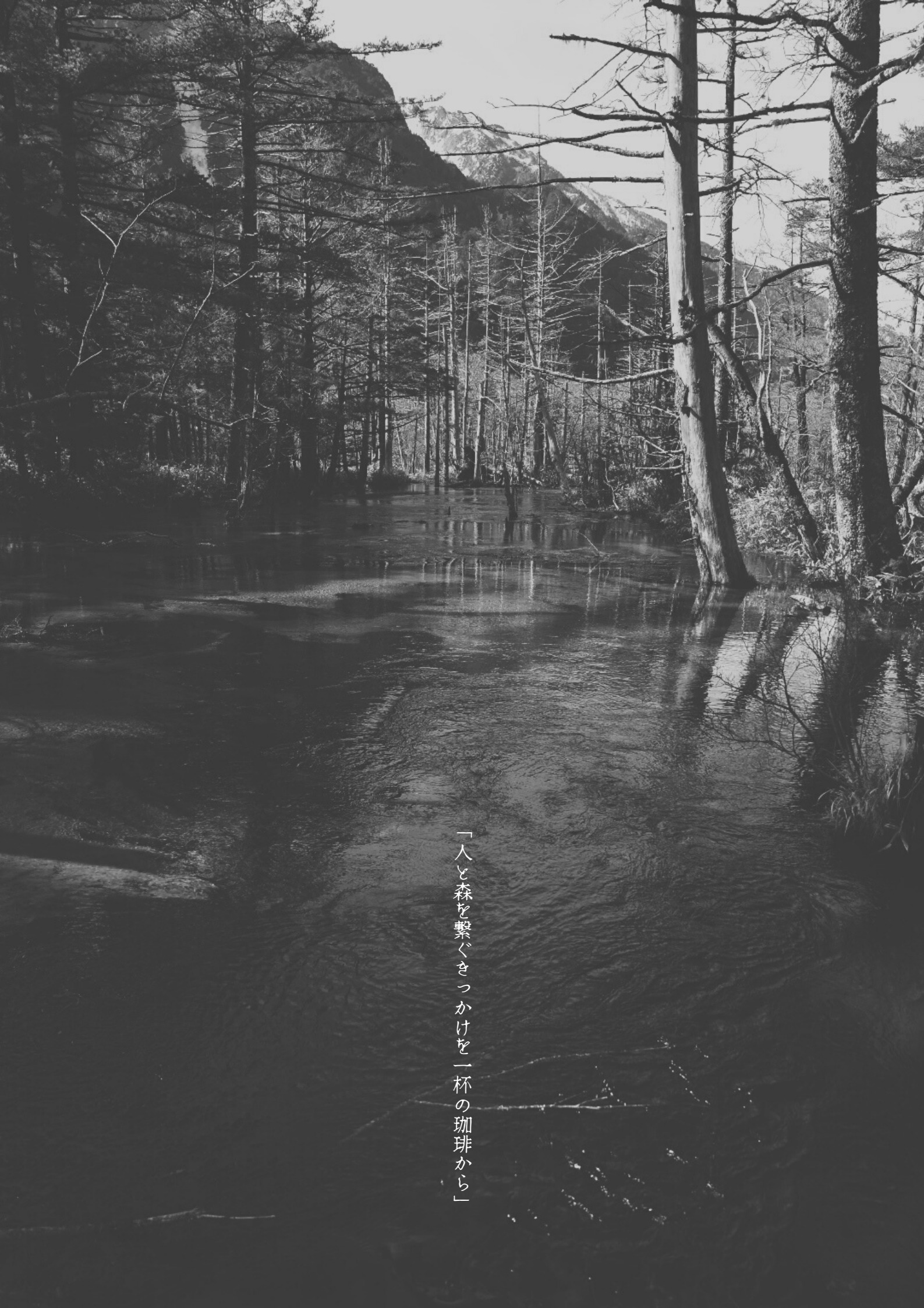
「ああ、なんかいいな...」

この気持ちこそが人を自然へと誘い、気づきを与える事の最たるではないでしょうか？私たちが提案する森の案内は、そんな「気持ち」を呼び覚ます時間をご提案したいと考えています。


そして、森や山で過ごす時間に美味しい珈琲があれば、充実感をもって自然界の無常観を楽しめるはずですよ。

私がそうであったように、日常のしがらみから解放され、森の「無音」と共に一杯の珈琲を味わう。この時間を一度体験してみてください。たった一度の体験できっと多くの方が、自然への興味関心を抱く大きなきっかけとなるはずですよ。

言葉で語らずとも、森へ入るきっかけを提案するガイド。これこそが、Bright fieldが提案する一つのガイドのあり方、森の案内人なのです。



「人と森を繋ぐきっかけを一杯の珈琲から」



珈琲との出会い、始まり...

焚火の前で珈琲を豆から淹れる
一人の男の姿を見た。湯気と珈
朝もやり、立ち込めた。何
珈琲の香り。かっこの何
か。一人、背中で語りかけてく
る。姿に憧れを抱いた。それが珈
琲との出会いだった。
朝、肌寒い地面からの冷気を背
中に感じ、テントの隙間から森
に目を向ける。がらも、今日は晴
まだ薄暗いながらも、今日は晴
天だ。
目を擦りながらケトルを火
にかける。隙間から朝日が差し込み
木々の隙間に、湯気と共に珈琲の
木々た森に、湯気と共に珈琲の
香りが辺りに立ち込める。甘さと
深い余韻が残っていた。

珈 琲

MIGHT AS WELL BREAK THE BEST

「山で飲む珈琲は美味しい」

なんて言葉を、誰もが一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。

山や森で飲む珈琲が美味しいと感じる理由。それは自然の静けさにより、生き物としての感覚が研ぎ澄まされ、味覚や香りをより感じやすくなっているからと考えます。そして、珈琲を淹れる事は、自然の中へ踏み入る第一歩となるでしょう。「自然の中で遊ぶ」と言うと、登山やキャンプと言ったアクティビティをイメージされる方は少なくありません。ですが、こんな風に思われたことはありませんか？

登山であれば体力や技術が心配だ。雨や天候に左右され、山頂に行けなければせっかくの休日が台無しに...

決してそうではありませんが、失敗や敗北を多くの人は意識してしまう生き物です。

森や山での珈琲は体力や技術がなくても、誰もが充実感や満足感をきっと味わえるはずで、山頂が全てではない。そんな楽しみ方を通じて、現代社会の勝ち負けと言う呪縛から解放され、本当の意味での非日常や平穏を感じる事ができる。それは、身近な自然の中で飲む一杯の珈琲かもしれない。

朝寝坊して出かけてもいいじゃないか。雨の日の東屋で、雨音に耳を傾けながらの雨宿りだっていいじゃないか。

自然の中で淹れる一杯の珈琲は、失敗も敗北もない最高のアウトド・アクティビティの楽しみ方です。

そして、そこで味わう珈琲には一切の妥協もなく自分が納得できる物でありたい。

Bright fieldが手掛ける珈琲は、あなたに最高の一杯をお届けする事をお約束します。

ここでは多くを語ることはやめておきましょう。作り上げた本物の味は、山で森で楽しむ贅沢なひと時を演出する森の時間でありたいと願って...

珈琲と森の案内人







See you in the forest...
